

江南の橋為江北枳

【書き下し文】

晏子將に荆に使ひせんとす。荆王之を聞きて、左右に謂ひて曰はく、「晏子は賢人なり。今方に來たらんとす。之を辱めんと欲す。何を以てせんや。」と。左右對へて曰はく、「為し其來たらば、臣請ふ一人を縛し、王を過ぎて行かん。」と。

是に於いて荆王晏子と立ちて語る。一人を縛し、王を過ぎて行くもの有り。王曰はく、「何為る者ぞや。」と。對へて曰はく、「齊人なり。」と。王曰はく、「何にか坐せる。」と。曰はく、「盜に坐せり。」と。王曰はく、「齊人固より盜するか。」と。晏子之を反顧して曰はく、「江南に橋有り、齊王人をして之を取らしめて之を江北に樹うるに、生じて橋と為らずして、乃ち枳と為る。然る所以の者は何ぞ。其の土地之をして然らしむるなり。今齊人齊に居りては盜せず之を荆に來たせば盜す。土地之をして然らしむる無きを得んや。」と。荆王曰はく、「吾子を傷なはんと欲して反つて自ら中つるなり。」と。

【現代語訳】

晏子が荆に使者として行こうとしていた。荆王がこれを聞いて、側近たちに告げて言うことには、「晏子は立派な人物である。今ちようど（荆に）来ようとしている。これを辱めてやろうと思う。どのようにして（辱めを）行おうか。」と。側近が答えて言うことには、「もし（晏子が）來たら、どうか私に一人の者を縛り上げ、王の側を通りかからせて下さい。」と。

そこで荆王は晏子と立って話をした。一人の者を縛り上げ、王の側を通りかかる者がいた。王が言うことには、「（その者は）何者か。」と。（側近が）答えて言うことには、「齊の人です。」と。王が言うことには、「何の罪に問われているのか。」と。（側近が）言うことには、「盗みの罪に問われております。」と。王が言うことには、「齊の人はもともと盗みを行うのか。」と。晏子がこれを振り返って見て言うことには、「江南に橋という木があります。齊王が人にこれを取らせて江北に植えたところ、生長して橋にはならず、意外にも枳となりました。そうなった原因は何でしょうか。その土地柄がこれ（橋）にそう（枳に）ならせるのです。今、齊の人が齊にいれば盗みをせず、これを荆に連れてくれば盗みをします。（それは）土地柄が齊の人に盗みを行わせるのではないのでしょうか。」と。荆王が言うことには、「私はあなたをやりこめようとして反対に自分自身が同じ目にあつたようだ。」と。

